

育成かながわ



◆発行責任者

神奈川県手をつなぐ育成会

会長 植松 みさご

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

TEL:045-323-1106 FAX:045-324-0426

E-mail ijkanagawa_k@yahoo.co.jp

URL <https://ikusei-kanagawa.jp/>

令和2年度通常総会報告

この度の令和2年度通常総会は書面表決書を提出していただき書面議決としました。構成員69名のうち、提出いただいた表決書数は62名で総会は無事成立いたしました。すべての議案について62名の賛成多数をもって可決されました。総会議案書の2019年度活動報告・決算報告、令和2年度活動計画・予算、役員改選についてはすべて承認されました。

ごあいさつ

会長 植松みさご



2020年は東京五輪開催の年。パラアスリートたちの活躍を応援すると同時に、地域の中で共にあたりまえにスポーツを楽しむことができるようになる、そんな社会への期待が膨らむ頃でした。コロナ禍は突然否応なく私たちの生活を一変させました。幸いにも障害福祉サービスの支援者の方々のご努力のおかげで感染は避けられていると思います。しかし、通所サービスが週2日になった、グループホームからの帰宅ができなくなった、外出ヘルパーさんの利用ができなくなった等々、かつての日常とは異なる様々な状況がでてきました。生活の変化に対応することが苦手な知的障害の方々のことを考えますと難しいと思われることが色々生じています。

あたらしいステージへ

このような時こそ、私たち「手をつなぐ育成会」の活動が問われているのではないのでしょうか。全国手をつなぐ育成会連合会は「一般社団法人」格を取得し、常務理事兼事務局長に就任された又村さんの今後の活躍が期待される出発の年となりました。神奈川県手をつなぐ育成会も、次のステージへの助走の年が始まろうとしています。活動の原点である知的障害児者の人としての権利を社会に向けて堂々と発信していくステージへ。神奈川のどこに住んでいても必要な支援を受けることができるために不可欠な要望活動へのステージへ。そしてコロナ禍の中必要で大切だと確認できた人と人とのつながりを作っていくためのステージへ。次の世代へ繋いでいくために、今の私たちがステップアップしていきましょう。「育成会はどんなことをしてくれるの?」ではなく「育成会に何ができるのか?」を会員一人一人が考えていくことで、きっと何かを見つけて、次のステージにつながっていくのではないのでしょうか。はじめの一步は、「ホームページ」での情報発信です。詳細は3ページをご覧ください。そして来年には新しい「神奈川県社会福祉センター（仮称）」への移転も決まっています。それぞれの支部のもつパワーを県育成会に集結して、新しいステージを作り上げようではありませんか。



「育成かながわ」は、共同募金配分金により発行しています。

【常任理事の承認について】

6月開催の理事会におきまして神奈川県手をつなぐ育成会規約第14条4項により土屋郁英、諸星由美子、鈴木亜紀子の3名が常任理事（任期2年）として承認されましたのでご報告いたします。

令和2年度 副会長・常任理事の紹介

副会長 藤田精子

コロナの渦による不安の中、共に協力をして乗り越えていければ、と思っています。



副会長 野口富美子

育成会活動を次の世代に引き継げるようあと少し頑張ります。よろしくお願いいたします。



副会長 中川孝子

これまでのご縁を大切に、これからも楽しく活動していきたいです。



常任理事 人権啓発委員会 土屋郁英

本人目線で皆様と考えていきたいと思ひます。今期もよろしくお願いいたします。



常任理事 広報委員会 諸星由美子

知りたい事、伝えたい事を、広報誌やHPで分かりやすく取り上げていきたいと思ひます。



常任理事 福祉施策検討委員会 鈴木亜紀子

小さな声も大きな声に変えて発信できるよう頑張ります。



*新しい事務局の角田由美さんをご紹介します！



この度、育成会で事務局を担当させていただき角田（つのだ）と申します。不慣れな事ばかりでご迷惑をお掛けする事と思ひますが、皆様のお力をお借りして頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

*仲俣さん、ありがとうございました



育成会での5年間には、全国大会・津久井やまゆり園事件などがあり、今までの中で最も印象深く、いろいろな事を考えさせられました。皆様からは多くの刺激をいただき、感謝しております。至らない事の多かった事務局を支えてくださり、有難うございました。会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

仲俣 一美



ホームページ開設

ホームページアドレス
<https://ikusei-kanagawa.jp/>

6月12日、念願だった神奈川県手をつなぐ育成会のホームページが公開されました。様々な情報発信のツールの一つとしての必要性を感じていましたが、なかなか手を付ける事が出来ずにいました。そのような時に、「川崎市手を結ぶ親の会」がボランティアグループ「WEBかわさき」に依頼してホームページを作成したとお聞きし、「WEBかわさき」を紹介していただきました。コロナウィルスの影響でお会いしての打ち合わせが途中からできなくなってしまい、メールや電話でのやり取りでの作成となってしまいましたが、何とか公開することが出来ホッとしています。ホームページのコンセプトとしては、わかりやすく、明るいイメージを目指しました。神奈川県手をつなぐ育成会では今何をしているのか、これからどんな事をやろうとしているのかなど、ホームページ上で様々な事を伝えていけるように更新もしっかり行っていきたくと思っています。「神奈川県手をつなぐ育成会」と検索した時に、一番最初にホームページが出てくるように、皆様ぜひ閲覧して下さい！そして、感じたこと、こんなことを載せたら…など、感想やご意見をお寄せください。



ぜひ検索して
 みてください！

ともに生きる
 ～知的障害児者と家族のために～

「手をつなぐ育成会」は知的障害児者等の親や支援者で構成された団体です。障害があっても1人ひとりの意思が尊重され、人権が守られ、生涯にわたって安心して活動できることを願って活動しています。

新着情報

- ホームページを公開しました
- 新刊『「親なき後」をみんなで支える』が刊行されました
- 神奈川県手をつなぐ育成会の新しいシンボルマークが完成しました
- 保護中：定例理事会報告
- 保護中：わたしのノート（書き）

ナビゲーションメニュー

知的障がい児者・自閉症児者の家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援
- 就労に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容		
病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
 新宿三井ビル2号館2F
 TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
 受付時間: 午前9時～午後5時
 (土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
 神奈川県社会福祉会館内
 TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2019年11月現在の内容です。(D-004329 2021-03)

※毎月1日付で加入できます。2020年度もよろしくお願いたします。



各支部の催しなどを紹介するコーナーです。たくさんのお待ちしています！

60周年記念誌完成！

設立60周年を迎えた相模原市手をつなぐ育成会では、30年ぶりに記念誌を作成いたしました。会の歴史を知ること、活発な活動を支えてきた先人の熱き思いや限りない苦勞の数々を改めて知るところです。社会の状況は日々変わり続けており、会の活動も変わってきています。過去から現在、現在から未来に続いていけるよう、思いを新たにしています。



〈相模原支部 大井 早苗〉



「障がいのある子って、どんな気持ち？」

～見て、聞いて、体験して、知ってほしい～

令和2年1月24日小田原市川東タウンセンターマロニエにて、座間キャラバン隊の講演会が小田原市社会福祉協議会と県西地区手をつなぐ育成会主催で開催されました。参加者59名。

はじめに、ダウン症や自閉症の特性をお母さんの目線から解りやすく具体的にお話しいただきました。その後は疑似体験。ピカチュウ王国で言葉の通じない世界を疑似体験。ペットボトルを利用して作っためがねを使った見え方体験。軍手を両手にはめての折り鶴づくりは「速くして」の声かけ付き。

楽しく和やかな雰囲気の中、とても貴重な体験をさせていただきました。まとめとして、接し方のコツを具体的に解りやすく伝えていただきました。座間キャラバン隊の皆さま、有難うございました。

〈小田原支部〉

編集後記



令和2年度は波乱の幕開けとなりました。4月の総会は書面決議となりましたがそのまま活動を停滞させるわけにはいかず、緊急事態宣言全面解除となった翌日の5月26日には今年度最初の役員会を、また6月5日には理事会を開催し、今年度の活動がスタートしました。育成かながわの編集に関しては、会合が難しい時期にはオンラインで打ち合わせを進めながら例年と同時期に発行することができ、担当者一同ホッとしています。「新しい生活様式」のワードが飛び交う中、県手をつなぐ育成会としても巻頭の植松会長のメッセージである「あたらしいステージ」へ向けて、会員の皆さまとともに一歩一歩進んで行けたらと願っています。

〈広報委員 中川 孝子〉

未来あんしんサポート

未来あんしんサポート[®]「知的障がい」や「自閉症」等の障がいのあるお子さまのために「親なきあと」をサポートするご提案です

親なきあとのこと... 障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配... この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。 この子への想いを 誰かに引き継ぎたい。

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を確実に未来へのこます。障がいのあるお子さまの親御さまは、「親なきあと」の生活がご心配のことかと思えます。「未来あんしんサポート」は、「親あるあいだ」に「親なきあと」をご準備いただくためのご提案です。「生命保険信託」の仕組みによって、親御さまがお亡くなりになられた場合にFWD富士生命がお支払いする保険金を、みずほ信託銀行がお子さまのための財産として管理しながら、定期的にお子さまにお届けします。

お問い合わせはこちらへ
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ
ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル
☎0120-580-503 通話料 無料
受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●ジェイアイシーは「個人情報の保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2018年6月1日現在のお取扱い内容に基づき作成しています。

「未来あんしんサポート」とは、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

〔生命保険募集代理店・信託契約代理店〕

株式会社ジェイアイシー

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
ホームページ www.jicgroup.co.jp

〔生命保険引受保険会社〕

FWD富士生命保険株式会社

〔所属信託会社〕

みずほ信託銀行株式会社

登録No.FWD-C1549-1806